



平成 28 年 8 月 10 日

各 位

会社名 株式会社 サクラ  
代表者名 代表取締役社長 笹倉敏彦  
(コード番号 6303、東証第二部)  
問合せ先 総務部長 松浦 誠  
(TEL. 06-6473-2131)

### 受注損失引当金および為替差損（営業外費用）の計上 ならびに業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

平成 29 年 3 月期の第 1 四半期連結累計期間（平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 6 月 30 日）における受注損失引当金および為替差損の計上について、下記のとおりお知らせいたします。また最近の業績動向を踏まえ、平成 28 年 5 月 12 日に公表しました平成 29 年 3 月期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）の第 2 四半期（累計）連結業績予想・通期連結業績予想および平成 29 年 3 月期の期末配当金の予想について、下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 受注損失引当金の計上について

平成 29 年 3 月期第 1 四半期連結累計期間において、前期末と比べ 1 米ドル当たり 10 円近く円高が進行したことにより、外貨建て受注案件である大型海水淡水化プラントの採算が悪化したことを主な理由に、平成 29 年 3 月期第 2 四半期以降の損失見積額を合理的に算定し、受注損失引当金 400 百万円を売上原価に計上しました。受注損失引当金の繰入戻入額につきましては、今後の為替相場の動きに伴って変動いたします。

#### 2. 為替差損の計上について

為替相場の変動により、平成 29 年 3 月期第 1 四半期連結累計期間において為替差損 326 百万円を営業外費用に計上いたしました。これは、平成 29 年 3 月期第 1 四半期末時点における為替相場で外貨建営業債権および外貨建預金等を評価したことにより生じたものであり、今後の為替相場の動きに伴って変動いたします。

#### 3. 業績予想の修正について

平成 29 年 3 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想数値の修正（平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 4,000	百万円 △200	百万円 △250	百万円 △300	円 銭 △18.96
今回修正予想 (B)	4,100	△400	△700	△750	△47.86
増減額 (B - A)	100	△200	△450	△450	
増減率 (%)	2.5	-	-	-	
(参考)前期第 2 四半期実績 (平成 28 年 3 月期第 2 四半期)	7,201	290	266	145	9.22

#### 修正の理由

平成 28 年 5 月 12 日に公表しました予想値より、陸上用機器事業において売上の増加が見込まれるものの、水処理装置事業における受注損失引当金の引当計上や円高による為替差損の発生などにより、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益の予想値を修正いたします。

平成 29 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 ( A )	百万円 10,500	百万円 200	百万円 100	百万円 40	円 銭 14.11
今 回 修 正 予 想 ( B )	10,000	△300	△600	△700	△44.67
増 減 額 ( B - A )	△500	△500	△700	△740	
増 減 率 ( % )	△4.8	-	-	-	
(参考)前期連結実績 (平成 28 年 3 月期)	12,932	419	179	34	2.20

修正の理由

平成 28 年 5 月 12 日に公表しました予想値より、水処理装置事業の受注が進まず売上が減少することに加え、上期に計上した受注損失引当金の引当計上や円高による為替差損の発生などにより、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益の予想値を修正いたします。

(注) 上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて算出したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる結果となる場合があります。

4. 配当予想の修正

	年間配当金		
	第 2 四半期末	期末	合計
前回予想（平成 28 年 5 月 12 日発表）	円 銭 0.00	円 銭 8.00	円 銭 8.00
今回修正予想	0.00	7.00	7.00
当期実績			
前期実績（平成 28 年 3 月期）	0.00	8.00	8.00

修正の理由

期末配当金につきましては、企業体質の強化と今後の事業展開、将来の研究開発投資、設備投資に備えて内部留保に努めながら、株主各位への配当は、将来にわたって安定配当を目指す方針としております。平成 29 年 3 月期の期末配当金につきましては、1 株当たり 8 円を予定しておりましたが、本日公表しました平成 29 年 3 月期通期連結業績予想を踏まえ、期末配当予想につきましては 1 株当たり 7 円に修正いたします。

以上